

長期ステロイド使用後の全身浸出症状を経て皮膚状態が改善した青年期アトピーの経過 (19 歳 青年)

症例 ID：001-19-MY3 | 記録日：2016 年 6 月 8 日

1. 診断・治療前経過

幼少期からアトピーがあり、年齢とともに症状が強くなりました。初めは非ステロイド外用薬を使用し、その後はステロイド外用薬を毎日使用しました。

外用を続けるうちに色素沈着と効果低下がみられ、別の治療を求めて受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	皮膚症状にステロイド外用薬を毎日使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	詳細不明ですが、長期間使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～	慢性経過	アトピー症状に対して外用治療を続けました。
年齢上昇後	ステロイド使用	症状悪化に伴い、ステロイド外用薬を毎日使用しました。
治療開始直後	リバウンド	全身の強いかゆみ、不眠、浸出液が出現しました。
症状の強い時期	生活への影響	衣服が皮膚に付着し、着替えや通学が負担となりました。
記録時点	経過中	リバウンド症状は軽減し、皮膚状態も以前より整いました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後に全身の強いかゆみと浸出液が続き、夜間にほとんど眠れず、学校へ行くことも負担となった時期です。

5. 困りごと

- 浸出液のにおいと衣服への付着により、着替えが難しくなりました。
- 夜間のかゆみで睡眠が大きく妨げられました。
- 一時期は通学すること自体が心理的な負担となりました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

時期	総 IgE
治療開始時	1 万 IU/mL 超
記録時点	6700IU/mL

7. 経過のまとめ

治療開始後は全身の強い症状を経験しましたが、記録時点ではリバウンド症状が軽減し、皮膚状態もステロイド使用時より整っていました。総 IgE は 1 万 IU/mL 超から 6700IU/mL まで低下しました。

症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。